

経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	77.43	100.00	2,990

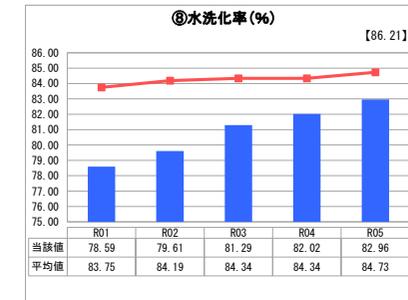
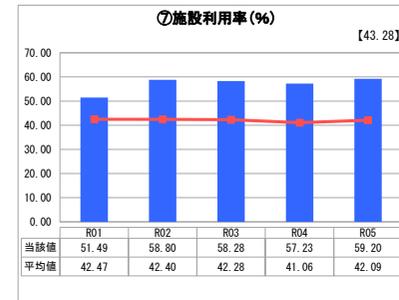
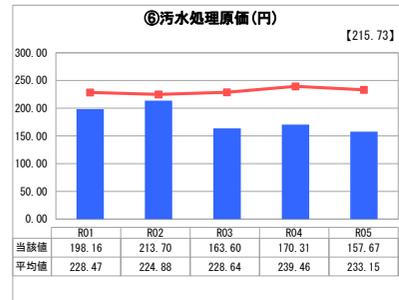
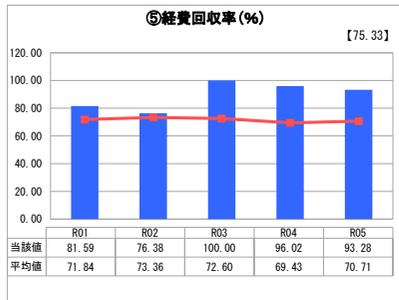
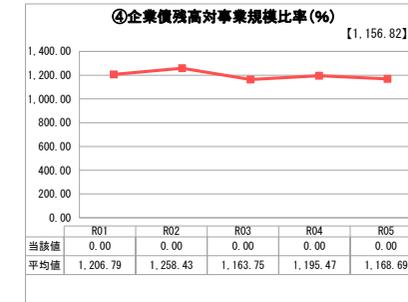
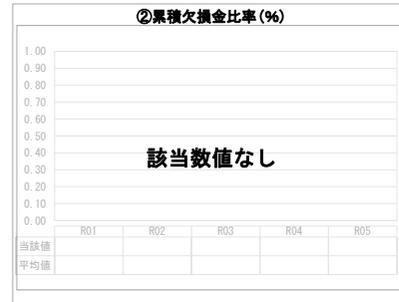
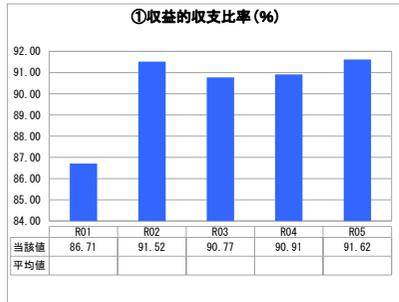
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,593	24.88	385.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,395	2.59	2,855.21

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は改善しているが、地方公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算を行ったことにより決算時点の総費用が減ったことによるもの。

特定環境保全公共下水道事業は、下水道使用料が接続戸数の増加により微増しているものの、施設が供用開始して20年以上経過しているため、今後、処理場、中継ポンプ場、マンホールポンプ場の機械・電気設備の修繕費用の増加が見込まれる。

また、建設当時から第3期地区までの起債償還に加え、各施設の更新事業分の償還が始まり、元利償還金は令和7年度までは年々増加する見込みである。なお、償還の財源は一般会計からの繰入に依存している状況である。

経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は類似団体平均及び全国平均よりも良好であるため、今後も維持管理に係る必要経費を精査し、より一層効率化を図っていく必要がある。

水洗化率は増加傾向にあるが、類似団体平均及び全国平均を下回っているため、今後も広報活動や情報発信による接続の推進に努め、水洗化率の向上につなげる必要がある。

2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

供用開始してから20年以上経過しているため、ストックマネジメント計画を策定し、施設の重要度による優先順位付けを行いながら、長期的な視点で施設全体を適正かつ効率的に管理していく必要がある。また定期的な点検により処理施設の不具合を早期に発見する。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、管渠整備がほぼ完了しており、今後は適正な維持管理と計画的な更新事業により費用の平準化を図る。

また、令和6年度に地方公営企業会計に移行した後、下水道事業経営戦略や維持管理費に見合った下水道使用料の見直しについて検討を行い、一般会計からの繰入に依存している状況からの改善を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。